

登録コード	HM219100	開講年度	2026				
授業題目	母子保健学演習 A				担当教員	中込 さと子	
英文授業名	Practice in Child and Women's Health Science A				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・ 5 時限 月曜・ 6 時限	対象学生	母子保健学ユニット1年次
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM保健学分野加, 2026HM保健学分野加・医学系_3年制・保健学分野, 2025HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加・医学系_3年制・保健学分野						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能を獲得する。		
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を獲得する。		
(2)詳細 /Detailed information	(授業達成目標) 母子保健学に関する研究課題を深める高度な知識と技術を習得する。 (詳細) 母子保健学領域に関する研究課題について、国内外の文献の購読と批判的思考を通じて、情報収集能力、分析能力を身につける。自ら研究課題を精選し、研究を遂行する能力を養います。						
(3)授業の概要 /Overview of course	母性看護領域、助産領域、母子保健領域の諸問題に関して、臨床現場から生じた疑問を研究課題に発展させるため、国内外の文献を購読し、ディスカッションを通して、問題解決を図るための研究手法を学びます。						
(4)授業計画 /Course plan	日時は受講学生と検討の上、決定します。研究の進捗により所要時間は異なりますが、項目ごとに指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要します。 各講義の成果物と集積し、研究計画を立案していきます。 第1～5回：文献購読を行いつつ、研究テーマの決定します。 第6～10回：研究を行うためのデータ収集、分析方法に関する討議を行います。 第11～15回：研究計画を完成させ、プレゼンテーションを行います。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	毎回の授業における学生の理解度と研究に関する姿勢に関して以下の基準を用いて評価を行います。 (i) 問題の設定が適切である。 (ii) その問題の背景を説明できる。 (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。 (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。 (v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにある。 「卓越している（秀）」。卓越しているレベルとは、欧文論文を網羅的に批判・分析し、新規の研究課題を抽出し、科学的妥当な研究計画を立案し、プレゼンテーションできるレベルをいう。 (i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	事前学習：次の授業に関する課題を毎回課します。 事後学習：毎回の授業内容から、自ら課題を決め小レポートにまとめます。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時相談に応じます。 中込研究室：保健学科棟中校舎3階 メール：snakagomi@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式 /Course format	研究テーマに応じ、講義、プレゼンテーション、ディスカッションをしながら進めます。						